

令和 5 年 1 月 16 日

農福連携の広がりと今後の可能性

一般社団法人日本農福連携協会

会長 皆川 芳嗣

1. 農福連携等推進会議 ＜資料 1＞
2. 農福連携等推進ビジョン（概要） ＜資料 2＞
3. 農福連携等推進ビジョンに基づく各種取組の推進 ＜資料 3＞
4. 農福連携の広がりの状況
 - 取組数の拡大
 - 「農」の幅、「福」の幅の広がり
5. 「ノウフク・アワード」の優良事例からみると
6. 農福連携の課題と今後の可能性

以 上

農福連携等推進会議

○ 農福連携等について全国的な機運醸成を図り強力に推進していくため、2019年4月に官房長官を議長とする省庁横断の「農福連携等推進会議」を設置。同年6月に開催された第2回会議において今後の推進の方向性を示した「農福連携等推進ビジョン」を決定。

構成員		有識者	
議長	内閣官房長官		
副議長	厚生労働大臣 農林水産大臣	且田 久美	株式会社九神ファームめむろ 取締役
構成員	内閣官房副長官（衆）	小池 邦子	社会福祉法人花工房福祉会 理事長
	内閣官房副長官（参）	佐藤 康博	日本経済団体連合会 農業活性化委員長
	内閣官房副長官（事務）	城島 茂	T O K I O
	内閣官房副長官補（内政担当）	新免 修	山城就労支援事業所「さんさん山城」施設長
	内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）	鈴木 厚志／緑	京丸園株式会社 代表取締役／総務取締役
	法務省矯正局長	鈴木 英敬	農福連携全国都道府県ネットワーク 会長
	法務省保護局長	中村 邦子	社会福祉法人白鳩会 常務理事
	文部科学省初等中等教育局長	中家 徹	全国農業協同組合中央会 会長
	厚生労働省職業安定局長	皆川 芳嗣	一般社団法人日本農福連携協会 会長
	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長	村木 厚子	津田塾大学 客員教授
	農林水産省大臣官房総括審議官		
	農林水産省農村振興局長		
(五十音順)			

※ 「農林水産業・地域の活力創造プラン」のフォローアップ及び今後の見直し等に向け、福祉分野等との連携における農山漁村の再生に向けた取組の推進について、実効ある方策を検討するため、本会議を開催。

※ 会議の庶務は、内閣官房及び厚生労働省の協力を得て、農林水産省において処理。

農福連携等推進ビジョン（概要）

I 農福連携等の推進に向けて

農福連携は、農業と福祉が連携し、**障害者の農業分野での活躍**を通じて、**農業経営の発展**とともに、**障害者の自信や生きがい**を創出し、**社会参画を実現**する取組
年々高齢化している農業現場での貴重な働き手となることや、**障害者の生活の質の向上**等が期待

農福連携は、**様々な目的の下で取組が展開**されており、これらが**多様な効果を発揮**されることが求められるところ

持続的に実施されるには、**農福連携に取り組む農業経営が経済活動として発展**していくことが重要で、個々の取組が地域の農業、日本の農業・国土を支える力になることを期待

農福連携を全国的に広く展開し、裾野を広げていくには「知られていない」「踏み出しにくい」「広がっていかない」といった課題に対し、官民挙げて取組を推進していく必要

また、**ユニバーサルな取組**として、高齢者、生活困窮者等の就労・社会参画支援や犯罪・非行をした者の立ち直り支援等、様々な分野にウイングを広げ、**地域共生社会の実現**を図ることが重要（SDGsにも通じるもの）

農福連携等の推進については、引き続き、関係省庁等による連携を強化

II 農福連携を推進するためのアクション

目標：農福連携に取り組む主体を新たに3,000創出※

1 認知度の向上

- ・**定量的なデータ**を収集・解析し、農福連携の**メリット**を客観的に提示
- ・優良事例をとりまとめ、各地の様々な取組内容を**分かりやすく情報発信**
- ・**農福連携で生産された商品**の消費者向けキャンペーン等の**PR活動**
- ・農福連携マルシェなど**東京オリンピック・パラリンピック**等に合わせた**戦略的プロモーション**の実施

2 取組の促進

○ 農福連携に取り組む機会の拡大

- ・**ワンストップで相談できる窓口**体制の整備
- ・**スタートアップマニュアル**の作成
- ・試験的に農作業委託等を短期間行う「**お試しノワーク**」の仕組みの構築
- ・**特別支援学校**における農業実習の充実
- ・農業分野における**公的職業訓練**の推進

○ ニーズをつなぐマッチングの仕組み等の構築

- ・農業経営体と障害者就労施設等の**ニーズをマッチングする仕組み**等の構築
- ・**コーディネーター**の育成・普及
- ・**ハローワーク**等関係者における連携強化を通じた、**農業分野での障害者雇用の推進**

○ 障害者が働きやすい環境の整備と専門人材の育成

- ・農業法人等への**障害者の就職・研修等の推進**と、障害者を新たに雇用して行う**実践的な研修の推進**
- ・障害者の**作業をサポートする機械器具、スマート農業**の技術等の活用
- ・全国共通の枠組みとして**農業版ジョブコーチの仕組み**の構築
- ・農林水産研修所等による農業版ジョブコーチ等の**育成**の推進
- ・農業大学校や農業高校等において**農福連携を学ぶ取組**の推進
- ・障害者就労施設等における**工賃・賃金向上の支援の強化**

○ 農福連携に取り組む経営の発展

- ・**農福連携を行う農業経営体等**の収益力強化等の**経営発展を目指す取組の推進**
- ・農福連携の特色を生かした**6次産業化の推進**
- ・障害者就労施設等への**経営指導**
- ・農福連携での**GAPの実施**の推進

3 取組の輪の拡大

- ・各界関係者が参加する**コンソーシアム**の設置、優良事例の表彰・横展開
- ・**障害者優先調達推進法の推進**とともに、**関係団体等による農福連携の横展開等**の推進への期待

III 農福連携の広がりの推進

「農」と「福」のそれぞれの広がりを推進し、農福連携等を地域づくりのキーワードに据え、**地域共生社会の実現**へ

1 「農」の広がりへの支援

林業及び水産業において、特殊な環境での作業もあることにも留意しつつ、障害特性等に応じた、マッチング、研修の促進、経営発展を目指す取組の推進、林・水産業等向け**障害者就労の付加価値事業**の創設

2 「福」の広がりへの支援

高齢者、生活困窮者、ひきこもりの状態にある者等の働きづらさや生きづらさを感じている者の就労・社会参画の機会の確保や、**犯罪や非行をした者**の立ち直りに向けた取組の推進

農福連携等推進ビジョンに基づく各種取組の推進

現状・課題

「知られていない」

- これまでは関心のある福祉関係者等を主なターゲットとしたセミナー等が中心で、国民全体への理解促進に向けた取組が十分行われてきていない。

「踏み出しにくい」

- 農業現場において障害特性を踏まえた助言等を行うことができる人材が不足している。
- 農業現場において障害者等を受け入れるためには、働きやすい環境を整備するとともに、農福連携の取組を通じ、その経営が経済活動として発展していくことが重要。

「広がっていない」

- 農福連携を全国的に広く展開させて、各地域において農福連携が定着するために、国・地方公共団体、関係団体等のもとより、経済界や消費者、更には学識経験者等の様々な関係者を巻き込んだ国民的運動として推進していくことが重要。

認知度の向上

取組の促進

取組の輪の拡大

対応

戦略的プロモーションの展開

- ノウフクJASを始めとするノウフク商品の消費者向けキャンペーンやメディアを活用した**戦略的プロモーションの実施**



ノウフクJAS認証第1号

農福連携を支援する専門的な人材の育成

- 農業分野における障害者の職場定着を支援する専門人材である「**農福連携技術支援者**」(いわゆる農業版ジョブコーチ)の研修制度を構築



人材育成研修(三重県の例)

農福連携に取り組む環境整備・経営発展の支援

- 農山漁村振興交付金(農福連携対策)により、障害者を受け入れる際に必要となる**休憩所や手すり等の安全施設、障害者等の雇用就労を目的とした農業用ハウスや加工施設等の整備**を支援



農業生産施設
水耕栽培ハウス



休憩所、トイレの整備

国民的運動を展開する基盤の形成

- 国民的運動として農福連携を進めるための機運を高める仕掛けとして、各界の関係者が参加する**コンソーシアムを設置**。今後、「ノウフク・アワード」選定による**優良事例の表彰・横展開**等を実施。

